

# 第28回 化粧品包装セミナー

## —材料・形態・機能から考える化粧品包装の現状と進化—

日程：令和2年2月27日（木）12:30～16:50  
 会場：公益社団法人日本包装技術協会 A会議室  
 主催：公益社団法人日本包装技術協会

### ご参加のお勧め

第28回を迎える今回は、化粧品に関わる包装資材、包装形態、包装設計と多角的な面から捉え、それぞれの専門家から概要の説明から活用事例まで説明いただくバラエティに富んだ内容でプログラムを編成しております。資材の新たな用途、現場の課題解決、包装設計の新たなアプローチ等、化粧品包装の今後の展開を考えます。

プログラムの最後には、講師の方々と企画委員との質問コーナーの開催も予定しております。この機会に多くの方々の参加お待ちしております。

企画委員一同

### プログラム

時間	講演内容	講師
12:30 ▼ 13:20	<p><b>『ウレタンフォーム素材概論』</b></p> <p>1954年に日本で初めてウレタンフォームを生産し始め、65年が経ちました。当時はマットレス用途がメインでしたが、エアコンの吸音材や婦人服の肩パッドから始まり、自動車のシート、キッチン用スポンジなど日常の様々な分野で使われるようになりました。化学技術、加工技術が発達して、軽量のもの、重量のあるもの、強度、伸びがあるもの、高・低反発なものなど様々な機能も付与できるようになりました。</p> <p>また、ウレタンフォームのコンシューマ関連用途は、パフ、ボディスポンジ、泡立てスポンジ、アイシャドーチップ、口腔ケアスポンジなどがありますが、今回は、ウレタンフォームの製造工程や機能を紹介させて頂き、ウレタンフォームの特性を知って頂くことで、新しい用途展開へつながることを期待いたします。</p>	<p>株式会社 イノアックコーポレーション 発泡品事業部 ウレタン技術部 部長 <b>西村 嘉修 氏</b></p>
13:30 ▼ 14:20	<p><b>『流通や通販現場での課題に対応した様々な包装形態・システムについて』</b></p> <p>近年のネット通販の増加によって作業・物流・環境面などで、様々な影響が出ている。高齢化による総労働人口の減少が「人手不足」を引き起こし、出荷作業面では通販事業の特徴でもある波動に対応した体制を構築する必要がある。受け取り不在による「再配達」も含めて、社会問題にまで発展している。これらの物流課題を解決する、各場面に応じた通販包装の形態や機能と、自動包装システム、デジタル印刷の活用事例について紹介する。</p>	<p>レンゴー株式会社 開発本部 開発営業第一部 部長代理 <b>藤井 利明 氏</b></p>
14:30 ▼ 15:20	<p><b>『泡スタンプハンドソープの容器開発 一楽しくて簡単な手洗いでキレイの習慣化を目指して—』</b></p> <p>石けんによる手洗いは簡便な衛生、感染管理の方法として広く知られており、小さな子どもでも日常的に行える効果的で簡単な方法です。しかしながら、実際の家庭を見てみると子どもは手洗いを怠りがちであり、お家の人が叱りながら半強制的に手洗いをさせている場面が少なくない。なぜ子どもは手洗いを怠りがちであるのか、その理由に着目し、容器からその課題へアプローチしました。そして、衛生行動をデザインすることで、手洗いやキレイの習慣化を目指しました。</p> <p>今回は、そのプロセスで開発した泡スタンプハンドソープ容器の設計と、その過程で培った私自身の思いを合わせて、お話しさせていただければと思います。</p>	<p>花王株式会社 包装技術研究所 <b>大西 洋 氏</b></p>
15:30 ▼ 16:50	<p><b>『質問タイム』 回答者：講演者・セミナー企画委員 予定</b></p> <p>化粧品パッケージについて事前に参加者の皆様に質問用紙を配布し質問を受け付けます。 上記講演に関する質問と併せて、講演者と本セミナー企画委員（一部）にそれぞれの立場でお応え頂きます。</p>	

### 化粧品包装セミナー企画委員 \*本催しは各企業から代表された企画委員によりプログラムを編成しております

主査 住瀬 雅広 氏 株式会社DSC 代表取締役社長  
 木本 喜久 氏 株式会社資生堂 パッケージ開発センター 外装企画グループ マネージャー  
 加川 泰央 氏 株式会社コーセー 商品デザイン部 設計開発室 設計1課 課長  
 高田 嘉嗣 氏 ポーラ化成工業株式会社 製品設計開発部 事業管理センター 係長  
 岡 政弘 氏 花王株式会社 研究開発部門 包装技術研究所 グループリーダー  
 (関谷 健次 氏 花王株式会社 研究開発部門 包装技術研究所 主任研究員)

## 講師のご紹介

### 西村 嘉修(ニシムラ ヨシノブ)氏

(株)イノアックコーポレーション 発泡品事業部  
ウレタン技術部 部長

#### 【ご略歴】

1996年(株)イノアックコーポレーションに入社し、軟質スラブウレタンフォームの開発に携わる。  
自動車用途、コンシューマ用途、エレクトロニクス用途など様々な分野のウレタンフォームの開発を行う。株式会社ロジャースイノアックで薄物ウレタンシートの開発を経て、2017年より現職にてウレタンフォームの新規開発業務に従事する。

### 藤井 利明(フジイ トシアキ)氏

レンゴー(株) 開発本部 開発営業第一部  
部長代理

#### 【ご略歴】

1994年 レンゴー(株)入社  
2016年 同社現部署にてパッケージの開発営業に従事  
包装管理士

### 大西 洋(オオニシ ヒロシ)氏

花王(株) 包装技術研究所

#### 【ご略歴】

2004年花王株式会社入社。マテリアルサイエンス研究所にて油脂精製技術開発、高級アルコール製造触媒開発業務に従事。2013年現包装技術研究所へ異動。業務品向け容器開発の担当を経て、2017年から包装容器の新価値創造を目的とした基盤研究に従事し、今回講演する泡スタンプハンドソープ容器を開発。  
2019年よりパーソナルヘルスケア包装容器開発を担当中。

## 講演要領

日時:令和2年2月27日(木) 12:30 ~ 16:50  
会場:「公益社団法人日本包装技術協会 A会議室」  
東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

参加費:

1名分参加費 (配布資料代含む)	会員	会員 (3名割引1名あたり)	一般
本体	13,000円	12,000円	17,000円
消費税10%	1,300円	1,200円	1,700円
税込合計	14,300円	13,200円	18,700円

定員:80名

## お申込み方法

- 本紙申込書に必要な事項を全てご記入の上、FAXにてお申込み下さい。協会ホームページからお申込みできます。  
\*協会ホームページ: <http://www.jpi.or.jp> を検索し、各種・催事から「第28回化粧品包装セミナー」を開いて下さい。ページ末の申込みフォームに必要な事項をご記入して送信下さい。
- 申込みされた方には、後日参加証と請求書をお送りします。
- 当日、ご都合が悪くなった場合、代理の方の出席は差し支えありません。(受付にて名刺をご提出いただきます)
- 開催3日前からのキャンセルによる参加費のご返金はできませんのでご注意ください。

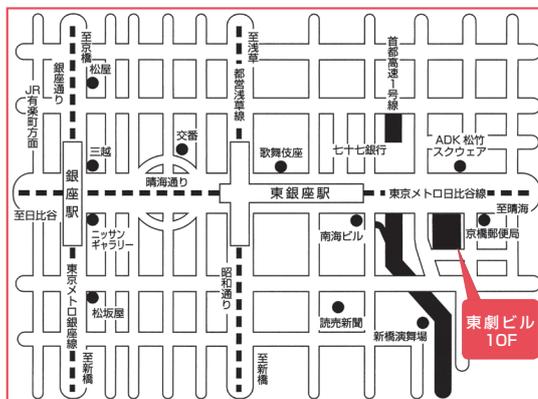
#### 【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第28回化粧品包装セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

## 会場案内図

■会場:公益社団法人日本包装技術協会 A会議室  
東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

■アクセス:地下鉄メトロ日比谷線・東銀座駅下車 6番出口より徒歩1分  
都営地下鉄浅草線・東銀座駅下車 6番出口より徒歩2分



## お問合せ並びに申込み先

公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当:竹内  
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F  
TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

## 第28回化粧品包装セミナー(2月27日開催)参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当:竹内 FAX.03(3543)8970 No

会社名	JPI会員 ・ 一般 (どちらかに○を付けて下さい)				
所在地	(〒 )				
電話	FAX				
参加者名	所属役職			e-mail	
	所属役職			e-mail	
	所属役職			e-mail	